

評価基準表

評価項目	評価基準	配点
1. 価格		400
価格	価格点=400点(価格点の満点)×[1-(入札価格/予定価格)]	計算式による
評価項目	評価基準	配点
1. 実施体制		300
A. 業務実施方針	<p>具体的な作業内容・スケジュールと人員体制を示し、契約締結から会議当日までの運営計画が説明されていること。</p> <p>※契約から会議当日までのスケジュール設計・管理方法が具体的に示されていること。</p> <p>※業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤を持ち、当該業務の継続的実施に必要な組織及び人員を有していること。</p> <p>※会議当日に必要な技術支援を含む適切なスタッフ数を確保し、自然災害や通信障害などの緊急事態に備えた代替案を持つこと。</p> <p>※業務の継続性を確保するため、担当者交代時の引継ぎ体制を整えること。</p>	100
B. 担当者の専門性と経験	<p>業務遂行に必要な組織的・個人的な能力が認められること</p> <p>※統括責任者が過去5年以内に100名以上の国際会議の運営・統括経験を有していること</p> <p>※主担当者は、TOEIC800点以上またはそれに相当する英語力を持ち、外国参加者とのコミュニケーションができること。</p> <p>※PMDAからの要請に迅速かつ柔軟に対応できる体制であること。</p>	200
2. 企画力		600
A. 本業務への理解度	提案が本会議の目的を深く理解し、その達成に貢献できるかどうかを示していること	300
B. 企画の独創性	仕様書の履行に留まらず、参加者の満足度向上や会議の価値を高める独自のアイデアを提案していること。	200
C. 追加の提案	仕様書に記載されていない業務についても、過去の国際会議運営経験に基づいた改善提案や支援策を提示していること。	100
3. 過去の実績		100
A. 組織実績	<p>国際的な会議の開催経験を有していること。</p> <p>※国際会議開催に関する知見や基本的な考え方を有しており、実施方法に関する問題意識等への十分な理解があること。</p> <p>※過去5年以内に首長級または政府高官級が参加した国際会議の開催実績を有すること。</p>	100
4 情報セキュリティ		120
A. 機密情報を扱う管理体制	<p>適切な情報管理能力を持ち、機密保持契約の内容を満たす体制があること。</p> <p>※社内で機密情報を適切に管理し、PMDAの求める機密保持契約を遵守できること。</p> <p>※機密情報を管理するための独自の優れた体制や手順を構築していること。</p> <p>※ISO27001、JIS-Q15001などの情報管理能力認証を取得・証明できること。</p>	120
5. ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標		80
	<p>女性活躍推進法に基づく認定(えるぼし認定企業・プラチナえるぼし認定企業)</p> <p>※プラチナえるぼし認定:40点 3段階目(全認定基準5つ〇):30点 2段階目(認定基準の3~4つ〇):20点 1段階目(認定基準の1~2つ〇):10点 行動計画策定期階:5点</p> <p>次世代法に基づく認定(くるみん認定企業・トライくるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業)</p> <p>※プラチナくるみん認定:20点 くるみん/トライくるみん認定:10点</p> <p>若者雇用促進法に基づく認定(ユースエール認定企業)</p> <p>※ユースエール認定:20点</p>	40
	合計	1200
	価格点及び技術点の合計	1600